

豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生のみなさんの意見及び市の考え方

市は、「豊中市子ども健やか育み条例」に基づき、「豊中市子育ち・子育て支援行動計画」を策定し、子どもの健やかな育ちに関し、子育ち・子育ての支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。この計画の令和5年度(2023年度)の事業実施状況について、市内の小学校放課後こどもクラブ、中学校、高等学校でヒアリングを実施しました。《令和6年(2024年)11月～令和7年(2025年)1月実施》

子どもの居場所について

＜家や学校以外の過ごしやすいと思う居場所＞

- **学校外に友達が作れる**ところ。小学校に友達がいないくて学校に行きたくなくても、**学校外に友達がいることが心の支え**になりました。
- **空調の効いたふらっと入れる場所**。何も用事がなくても入れることがポイントです。
- **無料で使えて、友だちとおしゃべりできる場所**。
- 子ども食堂の場所は知っていますが、行ったことはありません。**自分が子ども食堂に行ってもいいのか、というハードル**があります。



生徒

＜普段遊びに行く場所＞

- **公園などスポーツができる場所**。
- 小学校の時から月1回**子ども食堂**に行っています。**色んな人と関われるのが良いです**。
- **友達と一緒にカフェに行ってしゃべったりしている時間が楽しいです**。



生徒



子ども食堂は、誰でも参加できて、こどもを見守る大人や大学生などがある子どもの居場所です。今後全小学校区に子どもの居場所ができるよう取り組んでいきます。また、皆さんが気軽に訪れることができるよう、子ども食堂や無料・低額の学習支援などの子どもの居場所の情報を、ポータルサイト「いこっと」で公開しています。

その他、市の施設のうち、子どもたちの勉強や遊び、休憩や子育てなどに活用できるスペースの一覧をホームページに掲載していますので、ぜひご利用ください。みなさんのご意見をもとに、さらに子どもの居場所を充実していきます。



こども支援課

豊中市の図書館について

- 子ども向けの**図書室の閉館時間が早く、学校帰りに行けません**。
- **洋書の蔵書が少ないです**。
- **幼い子ども連れの場合、うるさくしないようになど気を遣うので、読み聞かせブースがあればいいと思います**。
- **フロアごとに、静かにするフロア、飲食OKフロア、自習フロアなどわければいいと思います**。



生徒

図書館では、大人も子どもも含めた皆さんが過ごしやすくなる環境づくりに取り組んでいます。例えば、図書館によっては静かに過ごす部屋や飲食できるスペースがあるなど、小さな子ども連れの保護者や子どもたちも過ごしやすい工夫をしています。

また、外国語の本は全部で1万冊以上あり、予約をすればどの図書館からでも借りることができます。

現在、新しくできる中央図書館を中心とした計画を進めているところです。皆さんの声を大切にしながら、よりよい図書館づくりを進めていきます。



読書振興課

豊中市子ども健やか育み条例の子ども向けリーフレットについて

「大人には子どもの権利を大切にしてほしいけれど、子どもはそれらん用してはいけないと思うな」という表現をどのように感じるか。

- 「らん用」という**表現が難しくて、よく分かりません**。
- 「**自分の意見と周りの意見が対立した場合、それぞれを尊重し、納得するまで対話する**」ことが大切です。
- **権利の主張は大事ですが、大人が自分のために言ってくれることは、自身が成長するためには必要だ**と思います。



いただいたご意見をもとに、当事者である子ども自身に「子どもの人権」についてわかりやすく伝わるよう、表現を見直します。



こども政策課

豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生のみなさんの意見及び市の考え方

消費者トラブルについて



- 海外から電話がかかってきたり、悪質なメールが届くことがあります。
- 明らかに時給が高いバイト募集は闇バイトかもしれないと怪しく思います。
- 中学生の時にゲームアカウントの詐欺をされ、お金を取られたことがあります。
- 相談窓口のことなど、学ぶことができる機会が少ないと思います。

民法の改正により成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、豊中市では若い世代の皆さんが消費者トラブルにあわないよう、出前教室の実施などによる周知啓発を行っています。今後も、皆さんが正しい知識を身につけることができるよう、ご意見をふまえ、学習の機会の充実に取り組めます。



くらし支援課

交通ルールについて



- 小学生の時の交通安全教室で警察官に言われたことが頭に残っているので、実践しています。
- 車が少ない時間帯に自転車でスピードを出しすぎて、ぶつかりそうになったため、車が少ないからといって、スピードを出しすぎないようにしています。
- 自転車の交通ルールが厳しくなったことは知っているが、テレビでチラッとみた程度で、どういう内容が詳しくは知りません。

市ではみなさんの命を守るため、交通安全に対する意識を高めてもらえるよう、こども園や小中学校・高校で交通安全教室を実施しています。ご意見をふまえ、継続して学ぶことができるよう、今後はより多くの高校での実施にむけて取り組めます。

また、自転車の交通ルールの厳罰化などに対応するため、VRを用いた学習やイベントの開催など、学ぶ手段や内容の充実にも取り組めます。



交通政策課

ほかにもたくさんのご意見を聴かせていただきました！

子どもの権利のことなど、豊中市は子どもを大切にしていると感じました。

土日でも、困ったときに相談できる支援があることで、心の余裕を持てる人が増えるからよいことだと思います。

ロボットやアバターなど人間以外のほうが本音で相談しやすいこともあると思います。

豊中市は様々な施策をやっていることが分かりましたが、そのことを知らなかったので認知度が低いように思いました。



生徒

これまで地域のことを考えたことがなかったもので、いい経験になった。

<小学生むけのアンケート>

自分の話を聴いてほしい大人の人に、話を聴いてもらった時の気持ちについて(回答数が多い順)

- ①うれしくなる ①すっきりする ③ほっとする
- ④元気がでる ⑤自信がもてる ⑥話しても聴いてくれない

児童



意見はまだまだたくさんあります！



みなさんの声も聴かせてね♪
市役所の人聴きにいくよ！
「出張ヒアリング」はこちら



具体的な提案を含め、たくさんアイデア・ご意見をいただきました。今後も広く意見を聞きながら、子どもの社会参加の手法や市の取り組みへの反映方法について検討します。

小曾根小学校放課後こどもクラブ、桜井谷小学校放課後こどもクラブ、少路小学校放課後こどもクラブ、第三中学校、第十三中学校、第十六中学校、桜塚高等学校、千里青雲高等学校、豊島高等学校、刀根山高等学校、豊中高等学校の児童・生徒のみなさん合計170人にご協力いただきました。



こども政策課

たくさんのご意見をありがとうございました。

